

2023年3月発行

# 防火作文集

2022年度 全国統一防火標語

お出かけは マスク戸締り 火の用心



防火作文の作品集は火災予防啓発の一環として、市内の各小学校へ配布しています。今回は伊万里市内の12校から4年生児童350名の応募がありました。この文集はその作品の中から選出された入賞作品19点（最優秀賞1点・優秀賞5点・優良賞13点）を掲載しています。

今後も、小学4年生を対象に募集しますのでたくさんのご応募お待ちしております。



## 〔最優秀賞〕

### 私にできること

伊万里小学校 黒川 さくら

年末の大そうじの出来事です。お母さんから、「コンセントまわりのそうじをしてね」とたのまれました。私はなぜコンセントのそうじをしないといけないのだろうと思いました。お母さんの話によると、コンセントにほこりがたまると、火事につながることもあるそうです。そこで私は、コンセントとほこりの関係について調べてみました。

調べてみると、トラッキング現象のことがわかりました。それは、コンセントとプラグのすき間にほこりがたまり、そのほこりが空気中のしつ気をきゆうしゆうすることで、ろう電し発火する現象のことです。私はそれを知って、コンセントのそうじはこまめにしないといけないと思いました。

そこでこれをきっかけに、お父さんとお母さんに家の中で気をつけている防火について、インタビューをしました。お父さんは、バーベキューをした後、すみを完全に消すようにしてい

ることで。その理由は、風で火のこが飛び、家がもえてしまうおそれがあるからです。次にお母さんが気をつけていることは、火を使って料理をしているときは、ぜったいに目をはなしません。その理由は、目をはなして他のことをしていると、火をつかっていることをうっかり忘れてしまうこともあるからです。

今回の防火作文を書いたことで、家族がふだんから火事にならないように気をつけていることがわかりました。私は火事をじつさいに見たことはないけど、ニュースや新聞で目にしたことはあります。火事は人の命をうばうこともあるのでぜったいにおこしたくないと思います。これからも、コンセントの差しこみがゆるんでいないかをかくにんしたりして、火事をおこさないために私にできる行動をしていきたいです。



## 〔優秀賞〕

### 私のお父さんは消防団

南波多郷学館 波多 玲佳

火事は、大切なすべてのものを灰にしてしまいます。それまで、当たり前のように生活していた家はもちろん、大切な思い出もなくなってしまう。火事になると、家族みんながとても悲しくなります。火事は、家だけでなく、原っぱや森林などでも起こります。山に落としたタバコの火が草木にもえうつり、火事になることもあります。こわいです。

私のお父さんは、消防団に入っています。消防団は、本当に火事が起きた時のために、機械の点検や消火の訓練をしているそうです。火事が起きないように広ほう活動もしているそうです。火事が多くなる時期になると、町の人たちに注意してもらうために、車で町を広ほうしながら一周しているという話も聞きました。地いきのみんなのために活動しているお父さんたちは、すごいなあと思いました。

お父さんは、火を使う時には火事にならないように、みんな

が気を付けてくれたらいいなと話していました。私は、夏休みには、家族で花火をします。その時には、必ずバケツに水をくんでおきます。花火を楽しんだら、水を入れてその近くに花火を集めておくようにしています。そして、今は、自分で料理をしているけれど、五年生になったら、家庭科のじゅ業で調理実習をするので、火事にならないように注意しなければと思いました。

最近では昔と比べて火事が減ったそうです。台所やお風呂で火を使わない、オール電化の家がふえたかららしいです。

消防団は、こう水になりそうな時にひなんする手伝いやきけんな所があれば土のうを積んでひ害が大きくならないように作業されていることも知りました。町みんなの安全のために、ありがとうございます。これからもけがをしないで、がんばってほしいです。

私はお父さんの話を聞いて、火を使う時には十分気を付けようと改めて思いました。



## 〔優秀賞〕

### 地いきを守る消防団

松浦小学校 江口 結愛

わたしのお父さんは、消防団に入っていて赤い大きな消防車に乗っています。そして、松浦町の上分の道路を

「カンカン、カンカン。」

と音を出しながら通っていきます。わたしはその音を聞くと、

「あつ、お父さんだ。」

と言います。

火事になる主な原因は、大人がすすっている「タバコ」「ストーブ」「火入れ」「コンロ」「放火」だそうです。火事はこわいです。

なぜかというと、自分の命や心をなくしたり、友達や家族をなくしたり、大切な思い出やがい産をなくしたりしてしまうからです。

そんな火事にあわないために、学校でも毎年避難訓練があります。そこで学んだことは「おかしもち」です。「お」はおさない・「か」はかけない・「し」はしゃべらない・「も」はもどらない

い・「ち」は近づかないです。私は、「おかしもち」は自分でもよく守れていると思います。これからもずっと守っていききたいです。

お父さんは、消防団で行かなければならない日は、仕事が終わるとすぐに出かけていきます。そういうお父さんのすがたを見て、「かっこいいな」と思います。でも、お父さんが火事にあってしまうかもしれないと思うととても心配です。

消防団の人たちは、火事が起きたときには自宅や職場からかけつけ、消火活動を行うそうです。大きなさい害のときなどには、地いきをよく知る立場から、ひなんの人のゆうどうや、救助活動を行っているそうです。消防団の人たちは、みんなの命を守るためにこんなにたくさんの仕事をしてくれているのです。すごいと思いました。

そういう消防団に私も入って、お父さんのように地いきを守る人になりたいと思います。



## 〔優秀賞〕

### 一人一人が協力しあつて

大坪小学校 甲斐 唯花

私はこれまでに二回、火事になりそうになった事がありました。

一回目は、家で花火をした時です。ろうそくに火をつけるとおれてまわりの草がもえました。

二回目は、料理をしている時です。少し目をはなした間におなべがこげていました。

昨日、学校で防火についての学習をしました。ストーブやレンジ、カセットコンロ、コタツなどが原因で、火事が起こる事があると知りました。

電子レンジは、使い方を間違えて十分くらい使うと爆発する事を知り、驚きました。

今度からは、家の中の火は気を付けて使つて、お出かけする時も火や電気などを消してから行こうと思いました。

また、冬は空気がかんそうしてしまつて、火事が起きやすい

という事も学び、とても驚きました。

学習したことで、火事はとても怖いことを知りました。自分ができる事から、火事を減らしていきたいです。

家でも、お母さんが時々おなべから目をはなすので、注意したいと思います。

家族一人一人が協力しあつて、火事を少なくへらせるようにします。



## 〔優秀賞〕

### 家が火事になったら

伊万里小学校 前山 花帆

私は、二〇二二年十一月に新しい家に引越しをしました。新しい家は、前の家とちがってオール電化です。ガスを使わないので、毎日の生活で火を見る事がなくなりました。火が身近な物ではなくなったので、火事にそうぐうしたら、また、自分の家が火事になったら、どんな行動をとるべきか考え、調べてみました。

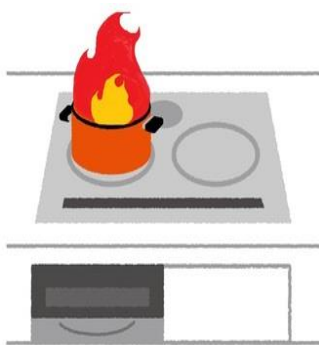
火事にあつた時おこなう三つの原則がある事を知りました。

一、知らせる：「火事だ」と大声を出し、助けを求め。すぐに隣の人に知らせる。二、消火する：消火器で火を消す、消火器がない場合は、座布団で火叩く、ぬれた毛布でおおうなど。三、逃げる：天井まで火がのぼっていたら扉や窓を閉め、空気が入らないようにし逃げる。これが三つの原則です。では、火事が起きたら家は？家の中に取り残された人は？家の中に置いている物は？どうなるの？私は、テレビで、火事が起

きてからたったの8分で家が全焼してしまうくらいを觀たので三原則の三つ目の逃げる、とにかく早く逃げたほうがいいと思いました。

私が、火事を起こさないように気を付けている事は、IHだからといって、料理中はなべやフライパンから目をはなさない、お母さんやお父さんがいない時は、IHを使わないようにする事です。

消防団の方々が、伊万里の街中を回って火の用心を呼びかけてくれているので、それを聞いた時には、家が火事にならないように気を付けて生活しようと思えました。それでも火事が起きてしまったら、三つの原則を思い出して、行動したいと思えました。



## 〔優秀賞〕

### 火事をふせよう

大坪小学校 山下 れい

わたしたちの身のまわりには、「火」というとても便利なものがあります。ですが使い方を一歩まちがえれば、大きな火事につながってしまいます。実は昔よりも今のほうが火事が起きており、ひ害をうけた人はたくさんいるそうです。

家の火災の多い原因は、たばこ・ヒーター・ガスコンロ・コンセントだそうです。

火事が起こってもだいじょうぶだと思っている人もいると思いますが、「火」はナイフと同じように命をかんとんにうばってしまいます。大人も子どももだれだって、注意することが必要です。

火事は家だけにかぎらず、学校やいんしよく店なども起こります。たとえば学校では、理科の実けんや家ていかのりようりで起きます。家と同じでいろいろなところにもたいさくが必要なのです。

わたしの町には消防だんやぼうさいくんれんがあります。このような町での活動などは積極的にさんかすることが大切だと思います。そうすることで家族・友だちなどの命を助けることができるかもしれません。そのほかにも家でかんたんにできることもあります。コンセントまわりのほこりのそうじ・火事が起きたときのひなんけいろのかくにんなどいろんなたいさくができます。もしも家で火事がおこったときたよりになる消火スプレーを、事前に準備しておくといいでしょう。

火事は出てくると思わない場所から出てくる場合があります。その時のために自分の命は大切にし「もうダメだ」と思ったときにはすぐにげましよう。そして自分の家では火事なんておこらないと思わずにどこからでも火はでてくると思っていっでも注意して安全に火を使いましょう。





## 〔優良賞〕

### ぼくの家防火ルール

大川内小学校 古川 航汰

「あけましておめでとございます。今年もいい一年になるようにがんばります。どうぞ見守っててください。」

線香をあげて手を合わせ、心の中でご先祖様にお祈りをしてきました。お盆とお正月には家族みんなでお墓参りに行きます。

ぼくの家のお墓は四つ並んで建っています。ひいおじいさん、ひいおばあさんのお墓以外は、ご先祖様のお墓があつて、全てに手を合わせるので大変です。

いつもお父さんがまとめて線香に火をつけて、少しずつ分けて僕たちに渡してくれます。

「あつっ！」

僕は持っていた線香を落としてしまいました。線香の火がついている方を下にして持っていたら、急に熱く感じたのです。線香の先の小さな火なのに、こんなに熱いとは知りませんでした。すぐに地面から拾ってお参りを続けました。でも、地面がコ

ンクリートではなくて、燃えやすいものだったら火事になったかもしれません。後でそう考えると、火が怖くなりました。

ぼくのうちにはルールがあります。お仏さんにお参りするとき、大人がいなくてろうそくに火をつけてはいけないことになっています。夏にバーベキューをするときも、火のついた炭を子供はあつかわせてくれません。そして子供の火遊びはぜったい禁止です。きっとお父さんやお母さんは、火の怖さを知っているから、火事を防ぐためにそんなルールを作ったんだと思います。

ほかにもバースデーケーキのろうそくや花火をするときなど、楽しいときはよく火を使います。だから火は大切です。でも大人がいないときは勝手に火をあつかいません。ぼくは火事を起こしたくないので、ぼくのうちのルールをぜったいに守ります。



## 〔優良賞〕

### 四季の防火対策

二里小学校 脇山 奏琉

四季を通して火をあつかうことはたくさんあると思います。

まず春は、お花見です。ぼくの家の近所には桜の木がたくさんあります。そこでお花見をしている人をよく見かけます。その人がバーベキューをしているときもあります。バケツに水をはって用意している人も多いです。

みんなが楽しむ場所だから火のあとしまつを心がけているんだと思います。

次は夏です。夏で火を使うのはやっぱり花火です。花火はバーベキューとちがってぼく達子どもも火をあつかいます。防火のために用意する物はロウソク、水が入ったバケツです。チャッカマンはロウソクに火を着けたらもう使いません。ロウソクの周りを何かでかこうといいと思います。ぼくはランタンを使います。花火が終わったらかならず水が入ったバケツにジュツと音をたてて消しましょう。

秋にも火は使います。秋の大そうじのとき集めた落ちばで焼きいもを近所の人達が作ってくれます。そのとき火は大きくなりませんが煙がたつので飛び火に注意します。たき火の周りをきれいにそうじしておきます。水と砂を用意して、大人の人達が交替で火の番をします。焼けたらみんなで食べます。

最後に冬です。冬は特に注意が必要です。とてもかんそうしているからです。

年末のニュースで家が全焼した火事があったそうです。その家の人はその日新居に引っこしていました。引っこしが終わって、空のダンボール箱を庭でもやしてしまいました。そこから火が飛んで、新しい家に火が着きました。せつかくの家がもえてしまったのです。

冬のかんそうした時季に何かをもちやしているとき、火から目をなしてはいけません。引っこしのようないそがしいときはぜつたいにしてはいけません。どんなときでも風やかんそうには要注意だと思います。



## 〔優良賞〕

### 火災のこわさ、身のきけん

東山代小学校 武藤 遊心

私は、消防士や消防団がかっこいいと思います。なぜなら、人の命を助けることが出来るからです。そして、学校では火災ひなくん練があつて、そのときに、ハンカチで口をふさいで運動場へにげます。私は最初のくん練のときに、

「何でこんなことしなきゃいけないんだろう」

と思っていました。でも、そのあとすぐに運動場で先生たちの言葉を聞いて、とても火事はこわいなと思いました。その理由は、火を使っているとき、いつ火事がおきるのかは分からないからです。ストーブや火がつく物を使っているとき、それにまさつや電気でも火災はおきるそうです。とても火事はきけんなことだと感じました。

私の家は昼や夕方、だいたいおばあちゃんと私と妹しかいません。おばあちゃんは物を忘れたりするし、妹はちがう部屋にいるので、おばあちゃんが料理をやっているとき、とても安心

できません。特に、あげ物をしているときが一番落ちつきません。だから、おばあちゃんが料理をやっているときは、私が見ていないと私が落ちつきません。なぜなら、もしも火を強くして服などにもえうつつたり、火を消し忘れたりしたら、火事になるかもだからです。火事になったことはないけれど、ニュースで見たときは、家が火事になって、1人二階にとりのこされたりして、死んだ人がいます。

私は、火事が自分の家でもないように、火事がおきて、人が死んだりしないように、火には気をつけていきたいなと思いました。これからも、火を使うときは安全、安心できるように気をつけて火災をおこさないようにしていきたいです。



## 〔優良賞〕

### 「火事について考えたこと」

大川小学校 檜崎 悠乃

わたしは、テレビで火事のニュースを見ました。そして、火事によって多くの人がなくなっていることを知りました。もし、家で火事がおきて家族がなくなったらわたしはとても悲しいし、火事は家をなくすだけではなく、大切な人もなくすかのうせいのあることなのだと思います。だから、近くで火事がおこったら自分に何ができるだろうと思ひ、考えてみました。

まず、消防士をよび、近くに居る大人の人に火事がおきて居ることを伝えます。そして大人の人と、協力して水をかけます。消防士の方が来るまでに少しでもわたしが居ることをするだけで、それ以上火事のはんいが居ることをふせぐことが居ると思ひます。

そのためにも、わたしたちは火事がおきたときのたいしよほを日ごろから学び、知しきを持って居ることが大切だと思ひました。

また、火事がおこる原因を居てみました。原因の一つに、もえやすいものを、ストーブやファンヒーターの前においたままに居ることが居られると思ひます。他にもコンロなどの火をつけたままその場をはなれて消しわすれることも原因だと思ひます。

火事をふせぐために、ストーブの周りには、物をおかない、火をつけたままその場をはなれないということを守っていくといいと思ひます。このルールを守って居れば、このように多くの火事はおこらないと思ひます。だからわたしはこのルールを守り、また友達などにもこのルールを居え、少しでも火事が居るようにして居きたいと思ひます。みなさん火事に居をつけて居すごし居しよう。



## 〔優良賞〕

### 「火事をへらすためには」

立花小学校 副島 千晴

「火事」をみなさんは知っていますか。火事とは、火が物へともえうつることです。そうになると、やけどや大けがをする人、そしてなくなってしまう人がでてきて、とてもきけんです。なのでわたしは、火事を少しでも多くなくすためにできることを、みなさんにも知ってもらいたいので、いくつかしようかいします。

一つ目は、キッチンの火やデンシレンジは使い終わったら、必ずでんげんを切ることです。使いなれたデンシレンジなどでも、うっかりしてつけたままにしていると、火事に成りかねません。なので、取りあつかう時は、十分注意しましょう。

二つ目は、ストーブです。ストーブは、たおれたりすると、とてもきけんです。なのでストーブの回りには、かこいをし、ぬのなどを近くにおかないようにしましょう。そうすることで、火ばなが飛びちった時でも、もえうつることが少なくなり、ス

トーブがたおれることや、やけどをすることが少なくなります。三つ目は、ひなん訓練です。これは、火事をなくす活動ではないけど、火事が本当に起きてしまった時に役立ちます。例えば、ひなんする場所がどこなのか分かるので、火事になった時にすぐそこへひなん出来ます。その他にも、訓練をしておけば火事になった時にすぐたいおうすることが出来ます。

このように、火事をふせいだり、起きた時にひなんする事ができます。それに変わって、火事のげんいんは身近な物が多いです。なのでうっかりしていると、命を落しかねません。それだけ火事はきけんなものです。だからその火事をへらすために、みなさんも、ご協力おねがいします。



## 〔優良賞〕

### 火がおそろしい事を知って

山代西小学校 松本 彩和

私がお家で行っている防火たいさくは、火をつける時は必ず誰かがその場所に行って火を消すまでずっと見る、という事。そして、ぜったいに火遊びをしないという事です。なぜなら、火は何にでも、もえうつつてしまうからです。

最近、テレビを見ていたらアメリカの山で山火事があったているのを見ました。その火はとても熱くて、一人のしょうぼう員は火で鼻がとけて、少しかけてしまったという事を知った時、私はぞつとして火はおそろしくこわいものだと思います。そして一番こわいのは、冬になった時です。空気がかんそうしていて草原などにすった後のたばこかをポイしたら、すぐにもえうつつてしまうのでとてもきけんだと思います。そしてもう一つ、冬はとくにストーブにこたつなどと、火を使うものが多いので気をつけてください。

これから気をつける事は、火を消し忘れていないか、ちゃん

とかくにんすることを気をつけ、とくに冬の火には、気をゆるませないようにしたいです。

これからがんばりたい事は、もっともっと火の事を勉強し、よりいっそう火のおそろしさ、こわいという事を他のみんなにも伝えたいと思いました。

みなさんも火には気をつけてください。火の事もよりいっそう勉強して、火のおそろしさ、こわい事も知ってください。



## 〔優良賞〕

### もえひろがる牧島セブンイレブン

牧島小学校 犬塚 心陽

二〇二二年の二月二十五日にじゅぎょうさんかんがありました。その時に、知らないおじいさんが、「火事だ。火事だ。」とっていました。私は「どこだろう。」と思いました。私のお父さんは消ぼううだんなので、火事に向かっていました。どこだろうと思っていたら牧島のセブンイレブンでした。私はとてもびっくりしました。そのとき私は、こわいからにげようと思いましたが。しかし、お父さんは、消ぼううだんなだから火を消しにいつているので、私は、「なんでいっしょに、にげないの。家族をおいて、火を消しにいくの。」と思いました。

私は、そのときのことをお父さんにきいてみました。お父さんは、「心陽たちは、安全な所に、にげているって分かっているから、火事を消しにいく。もし、中にお年よりの人がいたり、昔にとった写真も、もえてなくなったりすると小さいころどうだったのかもわからなくなるから消しに行くんだよ。」とお父さ

んは言っていました。

私はお父さんの話をきいて、「家族だけじゃなくいろいろな人を火事で守っているんだな。」と思いました。そんなお父さん 私は、「お父さんは、かっこいいな。家族だけじゃなく、いろいろな人をたすけてくれるお父さんは、スーパ―消ぼううだんだ。」と思いました。

私は、こんなお父さんを見て「やっぱかっこいいな。」と思いました。これからも火事がおきたら、いろんな人を火事から守ってほしいです。



## 〔優良賞〕

### 火事に気をつけて

東山代小学校 吉田 明花

ニュースで、家もえているのを見ました。すると、火がどんどん大きくなってとなりの家に、火がもえうつりそうになっていました。もし、わたしの家もえてしまったら、となりの人の家にもえうつって、となりの人にめいわくをかけてしまうし、命がなくなってしまうかもしれません。なので、どうしたら、火事が、少なくなるかを考えてみましょう。

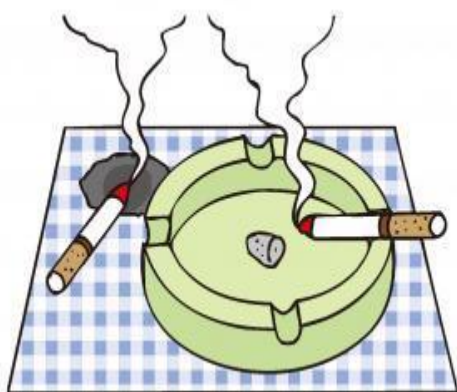
まず、最近、使っている人も、多いと思いますが、ストーブ、ヒーターなどは、火をつけるので、火事になるところがあります。ストーブ、ヒーターのちかくに、もえそうな物をおいていると、火事がおきます。なので、物を置くときは、すこしはなして置きましょう。

つぎは、火の消し合わせです。料理をするときは、目をはなさないでください。目をはなしたら、火事の原因につながるので気をつけてください。

その次は、みんな夏に楽しくあそぶ花火です。子どもたちだけで遊ぶのは、きけんなので必ず、大人の人と花火で楽しんでください。あと、花火をふり回したり、人にむけたりしないでください。水が入ったバケツを必ず用意してください。

さいごは、タバコです。大人の人がすっていることが、ありますね。でも、タバコは、火をつけるので、とってもあぶないですね。タバコを、ポイすると、もえるかもしれないので、ぜったいすてないでください。

これからは、みんなが、火事にならないように、協力してほしいです。





## 〔優良賞〕

### 火事に気をつけて過ごそう

大坪小学校 古川 大希

ぼくは、近所の人の家が火事になってしまったことがあります、火事はとてもこわいと思っています。だから火事を防ぐ心がけが大事だと思っています。

次に、火事を防ぐためにできること、してほしいことしようかいます。

一つ目は、コンセントの周りのそうじです。みなさんはコンセントの周りのそうじを忘れている方も多いのではないのでしょうか。コンセントの周りにはこりなどがたまっていて火事の原いんになります。だからコンセントの周りはきれいにそうじをしましょう。そうすることで、火事を防ぐことができます。

二つ目は、消火器を置いたり、使い方を知っておくことです。消火器を使うことで、火が小さいうちに火を消すことができます。だから地いきの防災訓練などに参加することもいいですね。三つ目は、ひなん方法を知っておくことです。ひなん方法を

知っておくことで、実さいに火事がおきた場合にすばやくにげることができません。

最後にぼくがみなさんによびかけたことは、火事で人が亡くなったり、大事な物がなくなったりします。だけど、火事を防ぐ対さくをすれば、火事を防げることもあります。だからしっかりと対さくなどをして、みんなで火事を防ぎましょう。



## 〔優良賞〕

### 火事の件数

立花小学校 久保田 祐太

ぼくはたまにお母さんやお父さんから、火事がおきたと聞くことがあります。なので、日本の一日や三カ月、一年の火事の件数を調べてみました。まず一日です。日本では、一日あたり百件以上の火災が発生しているそうです。たまにしか聞かないので1日あるかないかくらいだと思っていましたが、1日にこんなに発生しているとは知りませんでした。次は三カ月です。だいたい一万千件も火事が発生しているそうです。ぼくは最初は1日に火災が百件もおきてるとは知らなかったので多くても5回ぐらいかなと思っていたので、すごくおどろきました。建物や家などで、一番おそろしいとされる火災がこんなにも多く発生するなんてしよげきてきてました。次は、一年間です。三カ月や1日こんなにも多いならだいたい二十万回くらいだと思います。今から件数に入ります。だいたい一年間の火事の件数は三万五千件だそうです。そして、その七わりが高れい者だそ

うです。予想よりかは低かったけれど一年では1日が三百六十五日分や、1カ月が十二回分よりは少なかったのでよかったです。火事がこんなにもおきているなら火遊びや子供だけで花火など、火を使ってちよつと遊んだけで火事なるからこんなに多くの火災がおきるんだなと思いました。なので火遊びや子供だけで花火などはぜつ対にはいけないと知りました。



## 〔優良賞〕

### お家、外の身の回りのきけん

立花小学校 高橋 沙和

わたしのお父さんはガス会社で働いていますが、気をつけな  
いといけないことがあります。それは、トラックでガスボンベ  
を運ぶときです。なぜかという、事故にあつたら大火事にな  
るおそれがあるからです。

その他にも外の出来事ですが、車の中にいたとき、男せい  
がたばこをすったあとに、地面に捨てたことがあります。わた  
しはその人をゆるせないと思いましたが。そして、火事が起きて  
ほしくないとします。お家で火を使うのは、電気せい品など  
で火事が起きるおそれがあります。電気せい品などはコンセ  
ントをつなげることが多いですが、ほこりなどがたまったりした  
ら、火事が起きる場合があります。このように、お家の中でも  
外でもお店、会社、いたるところで火事が起きることがありま  
す。いつどこで火事が起きるか分かりません。

わたしの感想は、わたしが書いた作文やこれまでのテレビ番

組などをふくめ、本当にそんなことが実さいに起きるような世  
の中になったんだと思うとこわくて、とりはだかたちます。

今、自分がどこでどのように死ぬのかが分からないこの世の  
中でみなさんは今こうやって生きています。

火事などの事故、事件などにまきこまれないようにみなさん、  
これからも気をつけてください。



## 〔優良賞〕

### 準防火地域に住むぼくの家

伊万里小学校 後藤 大駕

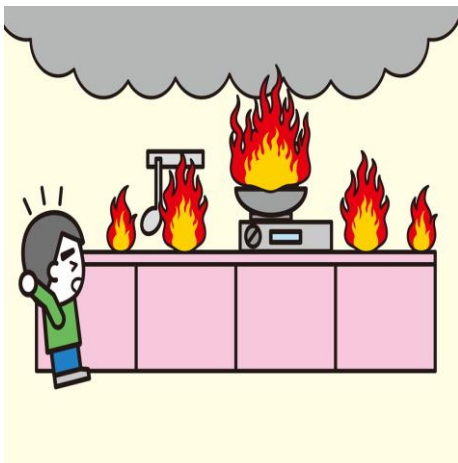
ぼくの家は、準防火地域に建っています。準防火地域は、火災をよぼうしないといけない地域です。準防火地域に家を建てるなら、大きさにおうじ、防火そちをほどきさないといけません。防火そちとは、燃えにくい家にするつくりのことです。

ぼくの家は防火そちは、約四こくらいあります。一つ目は、あみ入りのガラスです。これは、火を外に出さないためです。

二つ目は、ダンパー入りのかんきせんです。これは、火災が起きたときの熱いけむりを外にださないためです。三つ目は、もえにくいからです。これは、火災が起きたとき周りの家に燃えうつらないためです。四つ目は、火災ほうちきです。火災ほうちきは、けむりをかんちしたら、ピーピーという音をならして知らせます。

ぼくは、このことを知って準防火地域とは、ほかの家と、けつこうちがうことが分かりました。でもぼくは、ほかの家とつ

くりがちがうなら、家のねだんに差があるのではないかとぎもんに思いました。だからお母さんに聞いたらやつぱりほかの家とねだんは高かったけど、そのかわりに、ほけんりようがやすくなると言っていました。ぼくは、最初、準防火地域に住みたくなかったけど、いろいろ調べたり、聞いたたりして、準防火地域に住むのも悪くはないと思いました。そしてこのよいうな工夫がなかったら、一家が燃えたら見る見るうちに燃え広がるけど、工夫がたくさんされているから、この町も守られているということになりました。工夫がされているのとされていないのとで、けつこうちがうことが分かって準防火地域の工夫のすごさにびっくりしました。



## 〔優良賞〕

### 火事をおこさない

黒川小学校 前田 悠斗

ぼくは火事をみたことがあります。家もえていました。まっかな火がもえていてこわかったです。ぼくのおかあさんも昔火事をおこしたことがあるそうです。そのときはキャンドルをつけたままねてしまいふとんにその火がもえうつたそうです。ふとんがすこしもえたぐらいですんだみたいですがしぬかとおもったといっていました。

火事のげんいんでいちばんおおいのはタバコ、つぎはほうか、三番めにコンロだそうです。一位のタバコの火事で多いのはねたばこだそうです。つぎは「ポイ」すてです。おとうさんもタバコをすうのできをつけてほしいです。

二番のほうかはほうかはんがほうかされた人にたいしてうらみをもっていてそのしかえしでほうかをしています。あとは学生があそびでかれはや木に火をつけると、これもほうかになるそうです。

三番目のコンロはあげものをしてるときの不注意が原因です。うちもよくあげものをするのできをつけます。火事をおこさないためには四つの習慣があります。一つ目は、「ねたばこはぜつたいにしないこと。」二つ目は、「ストーブの周りにもえやすいものをおかない。」三つ目は、「コンロを使うときは火のそばをはなれない。」四つ目は、「コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。」火にきをつけて生活していきたいです。



## 令和4年度防火ポスターコンクール



伊万里市内の小学4年生以上の児童と中学生を対象に火災予防ポスターの図案を募集して防火ポスターコンクールを行い、62点の応募がありました。最優秀賞に選ばれた作品はポスターにして、伊万里市内の学校や事業所等に配布し掲示してもらいました。

伊万里小	6点	・	波多津小	2点
大坪小	18点	・	二里小	3点
立花小	10点	・	東山代小	2点
大川内小	1点	・	南波多郷学館	20点

最優秀 伊万里小6年 土田 陽斗 さん

## 令和4年度少年消防防火書道大会

伊万里市内の小学6年生児童を対象に火災予防思想の普及等を目的とした防火書道大会を行いました。「火の用心」、「火災予防」、「防火の輪」の3つの課題のうちから1つを選んで提出してもらい、今年度は13小学校495点の応募がありました。

伊万里小	82点	・	大川小	23点
牧島小	10点	・	松浦小	21点
大坪小	87点	・	二里小	14点
立花小	91点	・	東山代小	62点
大川内小	19点	・	山代東小	27点
波多津小	20点	・	山代西小	13点
南波多郷学館	26点			



最優秀 東山代小6年 堀田 心彩 さん

## 令和4年度出前消防スケッチ



最優秀 二里小2年 藤田 煌也 さん

伊万里市内の児童を対象に防火意識の高揚を目的としたスケッチ大会を行いました。応募があった小学校へ消防車・救急車で出向き、児童たちに思い思いの消防車両をスケッチしてもらいました。

今年度は4小学校138点の応募がありました。

牧島小	30点
山代西小	10点
二里小	74点
波多津小	24点

主催：伊万里・有田地区幼少年女性防火委員会

協賛：伊万里市防火協会

編集：伊万里・有田消防組合 伊万里消防署 消防3課 予防係

【問い合わせ】

伊万里・有田消防組合

伊万里消防署 消防3課 予防係

〒848-0027

伊万里市立花町1355-3